

令和6年度 3学年美術科シラバス

学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさと調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

学習内容

月	題材名	学習内容	評価の観点（評価規準）
4	「自分らしい表現へ」 ◇オリエンテーション	3学年の学習活動内容を知り、目的や意味を考え、意欲的に取り組めるようにする。	【学びに向かう力】これまでの学びから美術の目的や意味を考え、意欲的に取り組めるようにする。
4 9	「今を生きる私へ」 ◇自分に向き合って表す	今を生きる自分に向き合い、これまでの想いや未来に向けての自分に込めた願いなどから主題を決め、これまで学んできた表現と主題を重ね合わせ、自分自身を表現する。 ◆絵画・彫刻	【学びに向かう力】心の中を見つめ、自画像で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 【思考判断表現】心の内面や顔のイメージをもとに、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【知識技能】構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景、色彩などに着目し、印象などをとらえ、絵具や用具の特性を生かして表す。
9 12	「心がほっとなごむもの」 ◇使う人のことを思いつくる 「つくって使って味わう工芸」 ◇材料の特性を生かす 「暮らしやすさのデザイン」 ◇使う人の立場を考える	使う人の立場や使う人のことを思い、機能面やユーモアさを考え形や色をデザインし、材料の特性を生かしながら表現する。 ◆デザイン・工芸	【学びに向かう力】遊び心などを生かして、使う人のことを考え たものをデザインすることに関心を持ち意欲的に取り組む。 【思考判断表現】使う目的や条件、使う人への作用をもとに、使いやすさや遊び心、形や色彩などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【知識技能】形や色彩、材料の性質や効果に着目し、遊び心などをとらえ、材料や用具の特性を生かし見通しを持って表す。
12 2	「構図に思いをのせて」 ◇写真で対象の魅力をとらえる 「動きを生かして印象的に」 ◇映像を使って情報を伝える	自分の理解をしてほしい緊張を主題に相手に伝えるため、写真や映像で情報を魅力的にとらえ表現する。◆絵画	【学びに向かう力】写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 【思考判断表現】被写体の印象や瞬間の美しさなどをもとに、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【知識技能】写す角度や配置、拡大や縮小、光や陰影、時間の静止などに着目し、印象などをとらえ、カメラの特性を生かして表す。
3	「生活と美術」 ◇学びのまとめ	3年間の学びを振り返り、美術が社会に果たす役割や正解のない答えを探し、自分なりに表現することの意味をこれから未来を生きる自分と重ね合わせ考える。◆鑑賞	【学びに向かう力】3年間の学びから美術が社会に果たす役割や正解のない答えから、自分なりに表現することの意味を考え、これから未来を生きる自分と重ね合わせ自分の考えを深める。

3 評価の観点と方法

- ・知識技能…作品、ワークシート、アイディアスケッチ、提出物
- ・思考判断表現…作品、ワークシート、アイディアスケッチ、提出物

・主体的に取り組む態度…授業態度、作品、ワークシート、アイディアスケッチ、提出物